

# 研究所だより

第285号  
2009年9月7日  
発行：土佐清水市教育研究所  
TEL 82-3016

## <言葉遣いは話し上手の基本> 作文・挨拶全書より

### ① 言葉遣いと性格

人が無意識に話しているとき、その人の性格が話し方や言葉の端々に表れるものです。のんびりとした性格の人はおっとりとした口調でゆっくりと話すし、気短な人は早口でせかせかと話すことが多いでしょう。また、陽気な人はシャレやユーモアに富んだざっくばらんな話し方をし、暗い性格の人は生真面目で人の欠点を探し出すような話し方や、猜疑心ののぞくような話し方をします。けれども、自分の性格を自覚していて、これをカバーしようと思う人は、逆に性格と反対の喋り方をします。たとえば、人の良い照れ屋の人がわざと荒っぽい言葉遣いをして照れ隠しをしたりするのは、この例です。

### ② 言葉のクセ

殆どの人は多かれ少なかれ言葉のクセがあるものです。これは、性格や職業や地域などとの関係が深く影響している場合が多いものです。例えば、陽気な人はシャレやユーモアにあふれた言葉遣いを、陰謀をたくらむような策略家は、曖昧で誠意の感じられない言葉を使い、情熱家は形容詞や感嘆詞を多く用います。学者や役人、特にインテリぶった人には難解語や専門語の崇拜者が多く見られます。職人言葉や方言なども言葉のクセになっていることが多いのです。一般的には、話の終わりにネとかサを連発するクセ、断定的な言葉を使うクセ、曖昧で懐疑的な言葉遣いをするクセ、せっかちな話し方や話がよそにそれるクセ、などはよく見られるクセです。

ある程度のクセは、話に表情をつけ、その人らしさを表す効果がありますが、余りひどいクセは聞き苦しいのでなおすことが望ましいでしょう。ことばのクセは性格や習慣にもとづいたものが多いので、一朝一夕には改められませんが、環境や習慣が変われば、自然になおることも多いのです。

### ③ 品格のある言葉遣いとは

言葉の品格は、その言葉を使う人自身の品格によって大きく左右されます。たとえ丁寧な言葉遣いでも、度を超すといんぎん無礼な感じを受けるものです。これとは逆に、控えめでもその人の人柄がにじみ出ている場合とか、一言発した言葉が話の的を得ていて、いつまでも心に焼きつくような言葉は品格のある言葉です。

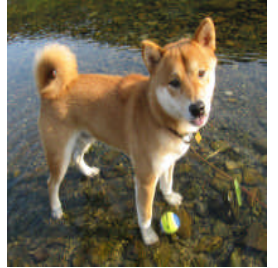
広い心や教養をそれとなく感じさせるような言葉は、とっさの場合に出てくるものではありません。日頃の心の修養が大切です。背伸びし過ぎや自分にそぐわない言葉ほど品格を欠くものではありません。目上には敬愛の、目下にはいたわりの気持ちを持ち、節度のある自然な言葉遣いをしていれば、自ずと品格は備わってくるものです。

## <市教研・一日教研>

一日教研ご苦労様でした。午前中の講演、午後の各部会研修と、暑い中、先生方の自主的、主体的な研修となったことと思います。

午前中の小柳先生の講演はいかがでしたか。先生方のニーズにあった講演だったのでしょうか。これからの教育実践に少しでも実になるものだったのでしょうか。

講演の感想文をお願いしましたが、たくさんの先生方から頂きました。ご協力有り難うございました。早速に、小柳先生に送りましたが、大変喜んでおられ、感謝の言葉をいただきました。



## 感想の紹介 (一部の方で申し訳ありません)

- 1 子どもに、「おもしろいね」「やってみたら」と、なかなか言ってあげられない状況があります。先生のおっしゃったとおり、もう少し、子どもに主体的に考え、行動できるようなことをさせていかなければ、自ら考え、学ぶといったことは目指せないと思います。先生のお話に同感です。
- 2 貴重なお話、ありがとうございます。発達障害につきましては、これまでの知識とのギャップに戸惑いましたが、同じ県内でも地域によって率が異なるように感じたり、兄弟・姉妹関係で見たとき、先天性のものを見ていた際に違和感を感じていましたので、先生の説を知り、少し納得しました。今後の指導の参考にしていきたいと思いました。(指導の広がりを感じました)
- 3 先生の話聞きながら、自信を持たせるには経験することが大切なのは・・・と思っていましたが、先生が大事にして欲しいという「感覚の自信」をつけるためには、これまでの子どもへの関わりを振り返ったときに、大人の感覚を押しつけているようで反省しました。  
スピードが違うなど今日の話はとても分かりやすく、これまでの生活を振り返ることが出来て、素敵な時間をいただきました。本当に有り難うございました。話は、心にストーンと落ちたので良かったです。
- 4 何かと速さを求められている今の世の中、少しスピードダウンして、周りを見、穏やかな時間を取ることを大切さを考えさせられました。また、ねぎらいの出来るサイクルを自分の中に持てるように、日々、ねぎらいの言葉をかけていきたい思います。
- 5 育て方で子どもが変わるというのは当たり前ですね。なるほどーという感じ。  
我が子は成人しています。今ではなくて昭和末に出生し、昭和の名残りのある時代に子育てできて良かった。今は嫌だな、と母親と教師の両方の感覚で感じていました。我が子の子育ては大変だろうと想像します。  
受け持ちの子どもとたくさんのスキンシップ、言葉かけをしたいです。

